

# 第4回若木杯関西学生剣道大会

## 大会要項

1 主催 関西学生剣道連盟

2 協賛 株式会社イシダ

3 日時 令和6年11月17日（日） 9時30分開会

4 場所 おおきにアリーナ舞洲

5 出場資格

関西学生剣道連盟加盟大学に個人登録されている者で、登録回数3回までの者に限る。但し、在学中に学生剣道大会以外の各職域大会に出場した者出場は認めない。

**※今回は、関西に設置されている高等専門学校の大学生に相当する4,5年生の大会出場を試験的に認める。**

出場方法は以下とする。

- 1) 男女とも編成人数による2部制の団体戦とし、どちらの部に出場するかの判断は各大学で行い、1チームのみ出場を認める。2)
- 2) 男子は7人制の部及び5人制の部のいずれかを選択し出場する。
- 3) 女子は5人制の部及び3人制の部のいずれかを選択し出場する。
- 4) 上記登録基準を満たす部員数が男子2人以下、女子1人の大学が出場を希望する場合は、**同様の出場希望大学同士又は高等専門学校同士の2校以上**からなる「合同チーム」を編成し、男子5人制の部、女子3人の部に出場することができる。希望する大学は、事前に弊連盟に相談することとする。参加については、弊連盟にて大会意義に則し協議を行い決定する。

6 試合方法

[男子団体戦（7人制の部）]

各大学9名（二刀の使用者は2名以内）の選手を登録することにより、チームを編成する。但し、4名以上に限り1チームとして認める。7人制のトーナメント方式により行う。

○チームが7名に満たない場合の選手の配置について

6名チームの場合、先鋒・次鋒・中堅・三将・副将・大将に選手を置く。

5名チームの場合、先鋒・次鋒・中堅・副将・大将に選手を置く。

4名チームの場合、先鋒・中堅・副将・大将に選手を置く。

(欠員の場合の対戦相手は不戦2本勝ちとする。)

#### [男子・女子団体戦（5人制の部）]

各大学7名（二刀の使用者は2名以内）の選手を登録することにより、チームを編成する。但し、3名以上に限り1チームとして認める。5人制のトーナメント方式による。

○チーム5名に満たない場合の選手配置について

4名チームの場合、先鋒・中堅・副将・大将

3名チームの場合、先鋒・中堅・大将

(欠員の場合の対戦相手は不戦2本勝ちとする。)

#### [女子団体戦（3人制の部）]

各大学5名（二刀の使用者は2名以内）の選手を登録することにより、チームを編成する。但し、2名以上に限り1チームとして認める。3人制のトーナメント方式による。

○チームが3名に満たない場合選手の配置について

2名チームの場合、先鋒・大将に選手を置く。

(欠員の場合の対戦相手は不戦2本勝ちとする。)

- 1) 試合は5分3本勝負とし、勝敗が決まらない場合は引き分けとする。
- 2) チームの勝敗は勝者数により決する。勝者数同数の場合は、総取得本数によって決める。総取得本数が同数の場合は、代表戦によって決する
- 3) 代表戦は5分1本勝負とする。時間内に勝敗が決しない場合は延長戦を勝敗が決するまで行う。尚、延長戦は3分ごとに区切り、勝敗が決するまで行う。
- 4) メンバーの変更は認めない、但し、オーダーの変更は自由である。
- 5) シード校は置かない

#### 7 試合規則並びに審判規則等

全日本剣道連盟剣道試合・審判規則、剣道試合・審判細則及び剣道試合・審判運営要領に準じて行う。

#### 8 審判員構成

関西学生剣道連盟加盟大学卒業生を以て構成することを原則とする。

9 表 彰

〔男子団体戦（7人制の部）〕 優勝・準優勝・三位（2校）

〔女子団体戦（5人制の部）〕 優勝・準優勝・三位（2校）

〔男子団体戦（5人制の部）〕 優勝・準優勝・三位（2校）

〔女子団体戦（3人制の部）〕 優勝・準優勝・三位（2校）

※但し、出場大学が8校に満たない場合は、表彰は優勝・準優勝のみとする。